

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7999 URL https://www.mutoh-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 早川 信正
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 担当部長 (氏名) 福富 弘悦 TEL 03-6758-7100
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,169	△14.7	△67	—	△52	—	△90	—
2019年3月期第1四半期	4,889	△2.0	17	—	32	△15.4	49	△23.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △166百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 87百万円 (△77.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△19.79	—
2019年3月期第1四半期	10.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,454	21,896	74.5
2019年3月期	28,907	22,272	74.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 21,188百万円 2019年3月期 21,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,600	0.4	30	△70.6	35	△76.6	△70	—	△15.38
通期	19,800	3.1	140	△12.9	150	△36.1	100	54.7	21.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,481,818株	2019年3月期	5,481,818株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	931,570株	2019年3月期	931,449株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	4,550,034株	2019年3月期1Q	4,550,579株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済環境は堅調に推移しているものの、米国の通商政策の先行きをはじめ不透明な状況が続いております。米国は雇用・所得環境の改善による個人消費は底堅く推移しましたが、長引く貿易摩擦の影響など景気の下振れリスクが懸念されております。欧州は堅調な内需が景気を下支えするものの、製造業の輸出の伸び悩みの長期化や英国のEU離脱問題が企業活動の重石となり不安定な状態は解消されておられません。中国は米中貿易摩擦の影響による景気の減速傾向が鮮明になってきています。国内経済においては、個人消費は緩やかな回復基調が続いているものの、輸出の伸び悩みにより景気に足踏み感がみられます。

このような状況のなか、当社グループは、将来の成長に向けた戦略投資を行いつつ、経営体質を抜本的に強化するため、開発・生産・販売にわたる業務プロセス改革、仕組み改革を実施し、将来にわたる収益力向上に取り組んでおり、その効果が表れはじめております。

大判インクジェットプリンタにおいては、既存市場における大手資本の参入による競争激化により、製品価格の下落が一層進行するなか、汎欧マーケティング施策の一元化、物流改革などを推進すると同時に、成長分野と位置付ける産業向けプリント市場を対象とした新製品開発を進めております。

ドイツ（ミュンヘン）で5月に開催された国際印刷展示会FESPA2019においてリジッド&ロールの両メディアに対応可能なハイブリッドインクジェットプリンタ「ValueJet 1627MH」が「European Digital Press Association (EDP) アワード」の“Best Wide-format Multipurpose Printer”を受賞しました。EDPアワードは、毎年デジタル印刷関連の製品や技術に対し、技術革新、品質、性能、コストなどEDP審査員による厳しい基準に基づいて、その年の最高の評価を得た製品に与えられる最も権威があり、価値のある技術アワードです。

この7月には、高画質、高生産性、操作性の良さを追求した新設計プラットフォームプリンタ「XpertJet」シリーズの第一弾として、ハイパフォーマンスデュアルヘッド7色インク対応モデル「XpertJet 1682SR」と性能・画質・価格のバランスに優れたシングルヘッド4色インク対応モデル「XpertJet 1641SR」の2機種を新発売。国内販売に続いて全世界に出荷を開始します。新しい「XpertJet」シリーズは、「ValueJet」シリーズで培ったMUTOHプリンタの強みである“高精度アルミフレーム構造”に加え、新たにMUTOHが開発した業界初の“新型フレンジ”（特許出願中）と“多段階加圧機能”（特許出願中）によりメディア交換作業時間の短縮と多様なメディアに対して安定した搬送を実現し、プロフェッショナルユースのシビアな要望にお応えします。あわせて、高い発色性とメンテナンス性に優れた新エコソルベントインク「MS41」を組み合わせることにより高画質、高生産性、高コストパフォーマンスをお客様に提供いたします。

3Dプリンタにおいては、食品加工工程用治具にも応用可能な旭化成製テナックを使用したPOM（ポリアセタール）素材のフィラメントの共同開発に続いて、造形後にドライヤーや温水などで温めるとソフト化するユニチカ製のTRF樹脂を使用したフィラメントを新発売。MUTOHは、製造業の3DPソリューション・パートナーとしてお客様の期待にお応えいたします。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、為替の円高や中国をはじめとするアジア地域の販売減等により、41億69百万円（前年同期比14.7%減）となり、営業損益は収益力向上の取り組み成果により売上高総利益率は改善し、開発投資を増やしながらも販管費全体は削減したものの販売減の影響により、67百万円の損失（前年同期は17百万円の利益）となりました。経常損益は、受取配当金等の計上により、52百万円の損失（前年同期は32百万円の利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券評価損、法人税等の計上により、90百万円の損失（前年同期は49百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は284億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億52百万円の減少となりました。

流動資産は155億61百万円となり、7億14百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少2億74百万円、受取手形及び売掛金の減少4億円等であります。

固定資産は128億93百万円となり、2億61百万円の増加となりました。その主な要因は、建設仮勘定の増加1億29百万円、工具器具及び備品の増加1億10百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は65億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。

流動負債は42億80百万円となり、98百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少2億65百万円、未払金の増加2億17百万円、賞与引当金の減少62百万円、未払法人税等の減少78百万円等でありま

す。固定負債は22億78百万円となり、22百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の減少12百万円、その他固定負債の増加39百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は218億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億76百万円の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払い1億59百万円と親会社株主に帰属する四半期純損失90百万円の計上による利益剰余金の減少2億49百万円、為替換算調整勘定の減少1億8百万円、退職給付に係る調整累計額の増加24百万円、非支配株主持分の減少45百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては2019年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要性が生じた場合は、速やかに公表いたします。通期為替レートにつきましては、USD：107円、EUR：126円としております。

業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,102	7,827
受取手形及び売掛金	3,718	3,317
商品及び製品	2,717	2,701
仕掛品	103	135
原材料及び貯蔵品	776	824
その他	938	835
貸倒引当金	△82	△80
流動資産合計	16,275	15,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,507	2,473
機械装置及び運搬具(純額)	79	85
工具、器具及び備品(純額)	195	306
土地	5,211	5,209
リース資産(純額)	2	34
建設仮勘定	24	153
有形固定資産合計	8,020	8,262
無形固定資産		
その他	521	600
無形固定資産合計	521	600
投資その他の資産		
投資有価証券	3,699	3,643
差入保証金	34	36
繰延税金資産	352	348
その他	10	10
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,089	4,030
固定資産合計	12,632	12,893
資産合計	28,907	28,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,483	2,218
未払金	385	603
未払法人税等	145	67
賞与引当金	146	84
製品保証引当金	150	138
その他	1,067	1,168
流動負債合計	4,379	4,280
固定負債		
繰延税金負債	51	48
退職給付に係る負債	1,881	1,868
役員退職慰労引当金	35	33
その他	287	327
固定負債合計	2,255	2,278
負債合計	6,635	6,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,199	10,199
資本剰余金	4,182	4,182
利益剰余金	11,967	11,718
自己株式	△2,440	△2,440
株主資本合計	23,908	23,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18	△15
為替換算調整勘定	△1,828	△1,937
退職給付に係る調整累計額	△543	△518
その他の包括利益累計額合計	△2,390	△2,470
非支配株主持分	753	708
純資産合計	22,272	21,896
負債純資産合計	28,907	28,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,889	4,169
売上原価	3,307	2,786
売上総利益	1,581	1,382
販売費及び一般管理費	1,563	1,450
営業利益又は営業損失(△)	17	△67
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	12	7
受取和解金	32	—
為替差益	1	4
その他	4	3
営業外収益合計	53	20
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	1	0
持分法による投資損失	33	4
その他	4	0
営業外費用合計	39	5
経常利益又は経常損失(△)	32	△52
特別利益		
固定資産売却益	27	0
投資有価証券売却益	33	0
特別利益合計	61	1
特別損失		
固定資産廃棄損	—	0
投資有価証券売却損	29	—
投資有価証券評価損	—	22
その他	0	—
特別損失合計	29	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	63	△73
法人税等	12	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51	△91
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	49	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51	△91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	9
為替換算調整勘定	20	△103
退職給付に係る調整額	22	24
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△6
その他の包括利益合計	35	△75
四半期包括利益	87	△166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86	△170
非支配株主に係る四半期包括利益	0	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。